

かぞりつひやりかわしょうがっこう
学校名 加須市立樋遣川小学校
所在地 埼玉県加須市下樋遣川427番地
電話 0480-68-5770

1. 本校の概要

本校は明治6年に、樋遣川東校として創立した歴史のある学校であり、現在は児童数136名、学級数6の小規模校である。樋遣川は、加須市の北東部に位置し、肥沃な水田地帯の中で、米所として発展している。「子どもは地域の宝」と学校教育に関心が高い地域であり、物心ともに協力的である。

2. 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

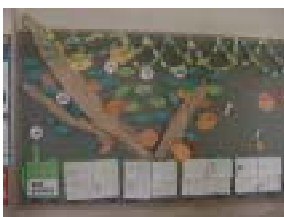
子どもたちのそばにいつも本があり、落ち着いて読書できるように、読書の時間や場を積極的に設け、意欲を高める工夫をしている。特に、図書室にはカーペット、隣接するオープンスペースには畳を敷き、地元出身の画家である斎藤与里の絵画を展示したギャラリーを設けるなど、居心地の良い読書スペースの整備に努め、子どもたちの情操を養う場としている。

朝の一斉読書（メルヘンタイム）

- ・毎週水曜日の朝、全校一斉20分間読書を実施

学期ごとに実施する読書週間

- ・2週間、毎日家庭での20分間読書を実施
- ・読書記録カードと読書シールの活用
- ・親子読書の推奨
- ・児童全員が、一口感想やぼく、わたしのおすすめの本を記入し、掲示
- ・読書感想文を発表（昼の放送）



図書委員会活動

- ・毎月図書日より発行
- ・紙芝居を実施（低学年向け）
- ・図書委員の計画、立案のもとにメルヘン集会を実施（2学期の読書週間）
（内容例 新しい図書の紹介、課題図書クイズ、絵本をスクリーンに映しての読み聞かせ）



継続的な読書記録

- ・本の題名・ページ数・記号による感想等、子どもたちの負担にならないような読書記録をつけ、学年末に全員に年間読書記録証を認定している。

(2) 家庭・地域との連携

読書週間中の親子読書

- ・子どもとの交流の様子を感想用紙に記入
- ・公共図書館の利用
- ・各学年50冊ほどの集団貸出を利用。
- ・地域ボランティアの活用
- ・「たんぼぼ」による読み聞かせを毎月1回のメルヘンタイムに、1～3年生を中心に実施
- ・「ラビットぶんこ」によるお話会とブックトークを全学年、年間2回実施

3. 成果と今後の課題

- (1) メルヘンタイム等の実施で、生活も落ち着き、いつも手元に本をおく子が増えてきた。
- (2) 読み聞かせやお話会などにより、本の持つ魅力を十分に味わうことで、ブックトークで紹介された本を手にする姿が多く見られるようになった。
- (3) 子どもたちの足が自然と図書室に向かうように魅力的な読書環境の整備に努め、地域と連携した取り組みをさらに進めていきたい。